

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	し尿収集事業				事業コード	540337					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち		政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成				施策コード	222				
事業担当	所属	05030000 市民総務部 市民課			所属長	村上 五十鈴					
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	03 し尿処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	174	頁
計画期間	開始年度	昭和	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	一般廃棄物処理計画		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、福知山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例										
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び、本市の一般廃棄物処理計画に基づき処理する。										
対象者	市民(未水洗、工事・イベント等仮設)				対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)										
委託先・実施主体等	上下水道部、委託先：(株)アクアテック、(株)かんとーす、(株)クリア、(株)石丸浄水センター										
事業概要 (箇条書き)	し尿収集運搬業務の委託及び業者と利用者間の連絡調整 し尿投入施設の維持経費負担										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	報酬、職員手当等	1,612	臨時職員報酬、職員手当等、共済費								
	需用費	463	し尿くみ取り作業日程表、し尿くみ取り券、ガソリン代、事務消耗品								
	役務費、使用料及び賃借料	623	し尿くみ取り券売りさばき委託手数料、電話料、郵送料、複写機使用料								
	委託料	99,220	し尿収集運搬業務委託、し尿収集運搬予備車輛保管業務委託								
負担金補助及び交付金	12,857	下水道し尿投入負担金									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	111,268	116,351	118,102	118,419			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①～③)	111,268	116,351	118,102	118,419				
予算財源内訳	① 一般財源	86,638	91,339	93,225	93,526			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	24,630	25,012	24,877	24,893			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	111,268	116,351					
	③ 執行額	108,163	114,775					
	④ 執行率	97.2%	98.6%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.80 / 2.00	0.85 / 2.00	/	/			
	② 概算人件費	11,400	11,800					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	119,563	126,575						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	し尿くみ取り手数料	種類	衛生手数料	実績金額	14,037	14	頁
		一般廃棄物処理業許可申請手数料		衛生手数料	12	決算附属資料	14	
		浄化槽清掃業許可申請手数料		衛生手数料	12		14	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	し尿収集量	kL	2060 / 2200	1911 / 2100	1922 / 2100	/ 2100	2100
	単位あたりコスト		52.5	56.6	59.7		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生的な市民生活を維持するため、し尿くみ取り依頼者と収集運搬業者との連絡調整を実施した。 仮設便所を含め下水道等に接続していない便所がある限り、し尿収集運搬は必要である。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> し尿収集運搬業務委託の契約金額について、業者側が事業を継続でき、市に大幅な負担がかからないよう協議した。令和5年度においても継続して協議を行う。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> し尿くみ取り依頼者と収集運搬業者との連絡調整を実施し、衛生的な市民生活を維持した。 仮設便所を含め、下水道等に未接続の便所がある現状では、衛生的な環境を維持するために欠くことはできない。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び本市の一般廃棄物処理計画に基づき、適切な処理を実施したため、衛生的な市民生活を維持するという目的を遂行することができた。 今後も安定して衛生的な環境を維持するために、し尿収集運搬業務を継続する必要がある。【定性的評価】 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、法及び処理計画に基づき、衛生的な市民生活を維持するため事業を実施する。 し尿収集運搬業務委託料の再設定や第三次合理化事業計画終了後の代替業務の取り扱いに関するガイドラインの整理に向け、収集運搬業者と協議を重ねている。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公衆便所管理事業					事業コード	520118					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり					
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成				施策コード	222					
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生					
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費		会計	01 一般会計	決算附属資料	160	頁
計画期間	開始年度	昭和28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	公衆トイレ(岡ノ二・内記六丁目及び野家)の清潔保持に努め、市民その他の利用に供することで、市民の衛生環境を保全を図る。											
対象者	全市民			対象者数	75,948		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	公益財団法人シルバー人材センター、個人											
事業概要 (箇条書き)	公衆便所の清掃業務、施設修繕											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	需用費	162		水道、電気料								
	委託料	362		清掃業務								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	491	591	591	669	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0			
小計(①~③)	491	591	591	669		
予算財源内訳	① 一般財源	491	591	591	669	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	45	△ 32			
	② 配当予算	536	559			
	③ 執行額	535	524			
	④ 執行率	99.8%	93.7%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.07 / 0.00	0.12 / 0.00	/	/	
	② 概算人件費	560	960			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,095	1,484				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	公衆トイレ数	箇所	3 / 3	3 / 3	3 / 3	3 / 3	3
苦情件数		/	/	0 / 0	/ 0	0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	稼働日数	日	365 / 365	365 / 365	365 / 365	365	365
	単位あたりコスト		1.5	1.5	1.4		
	単位あたりコスト		/	3 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○公衆便所は、廃棄物処理及び清掃に関する法律第5条第6項「市町村は、必要と認める場所に公衆便所及び公衆用ごみ容器を設け、これを衛生的に維持管理しなければならない。」に基づく事業であり、必要性は高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	公衆便所の管理については、定期的な清掃及び不具合のチェックを行うことで、衛生的な維持管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○公衆便所の清掃を定期的に行い、トイレトペーパーやトイレ付属品に補充を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	公衆便所の清掃保持に努め、市民等に対して公衆便所の利用に供することができた。引き続き市民その他に対して、公衆便所の利用に供するため、継続して衛生的に維持管理を行う。		
改善策	引き続き市民その他に対して、公衆便所の利用に供するため、継続して衛生的に維持管理を行うとともに、利用者にも清潔に利用していただくよう掲示などにより啓発する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	環境衛生対策事業				事業コード	520130					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり					
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成				施策コード	222				
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課			所属長	四方 幸生					
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費	会計	01 一般会計	決算附属資料	162	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	災害に備えて衛生消毒機器を整備するとともに消毒液等を備蓄し、災害発生後は消毒作業を実施することで感染症などの防止に努め市民の衛生状態を良好に保つ。 また、蜂の駆除を行う市民に対し防護服を貸し出すことで、蜂の巣の安全な除去により市民生活の安全性を確保する。										
対象者	全市民	対象者数	75,948	単位あたりコスト	0.0						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	災害に備えた衛生消毒機器の整備 衛生消毒液の備蓄・更新 災害発生後の衛生消毒業務 蜂駆除防護服の貸し出し										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	需用費	37	ゼンリン地図								
	備品購入費	263	蜂防護服								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	393	381	363	11	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0			
小計(①～③)	393	381	363	11		
予算財源内訳	① 一般財源	393	381	363	11	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 45	△ 1			
	② 配当予算	348	380			
	③ 執行額	51	299			
	④ 執行率	14.7%	78.7%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.05 / 0.00	0.12 / 0.00	/	/	
	② 概算人件費	400	960			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	451	1,259				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	定性的評価						
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	蜂駆除防護服貸出件数	件	25 / 0	37 / 0	37 / 0	/ 0	0
	単位あたりコスト		0.1	1.4	8.1		
	消毒実施件数	件	0 / 0	5 / 0	4 / 4	/ 0	環境衛生対策事業
単位あたりコスト		0.0	0.0	74.8			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	災害時に消毒を早く行えるよう、消毒液や消毒機器を管理する事業であり、必要は高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	災害時に早期対応できるように、消毒液及び消毒機器の確保が必要である。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○消毒液及び消毒機器の在庫及び消毒機器の確認を行う。 ○令和4年7月豪雨において、三和町高杉2回、市の谷1回、報恩寺1回、計4回の家屋床下消毒散布を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	○災害に備え、衛生消毒剤の備蓄と消毒機器の整備を適正に行っていたため、迅速に消毒作業を行えることができた。 ○蜂防護服が全体的に老朽化しているため、使用者の安全確保のため、随時更新を図る。		
改善策	蜂防護服が全体的に老朽化しているため、使用者の安全確保のため、確認の上、更新の検討を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	不法投棄防止パトロール事業					事業コード	540108					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成			施策コード	222						
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課			所属長	四方 幸生						
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	170・172	頁
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市街地外周部や山間部での不法投棄が後を絶たず、地域環境への影響が懸念される。不法投棄の防止には、早期発見・早期対策が必要不可欠であるため、巡回パトロールとごみの回収を行うことにより、不法投棄防止対策の充実と市民生活の安心安全を図る。											
対象者	全市民	対象者数	75,948	単位あたりコスト	0.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(公社)福知山市シルバー人材センター、(社福)しあわせネットワーク											
事業概要 (箇条書き)	不法投棄が多い重点監視地点を中心に巡回パトロールを実施し、不法投棄されたごみを処理する。また、回収した不法投棄物の内容を調査し、不法投棄者の特定につながる物を発見した場合は、警察と連携して注意、指導を行う。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容									
	需用費	100	不法投棄防止看板									
	委託料	3,997	不法投棄防止パトロール委託									
	原材料費	382	防止フェンス設置資材									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,049	4,330	4,127	4,238				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	4,049	4,330	4,127	4,238					
予算財源内訳	① 一般財源	2,025	2,165	2,064	2,119				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	2,024	2,165	2,063	2,119				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	124	150						
	② 配当予算	4,173	4,480						
	③ 執行額	4,173	4,479						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.17 / 0.00	0.24 / 0.02	/	/				
	② 概算人件費	1,360	1,970						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,533	6,449							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	不法投棄防止パトロール事業(きょうと地域連携交付金)	種類	衛生費府補助金	実績金額	1,211	決算附属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	回収量	t	5 / 0	5 / 0	5 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	パトロール回数	回	218 / 218	218 / 218	217 / 217	/ 218	218
	単位あたりコスト		20.0	19.1	19.1		
	単位あたりコスト		/	7 /	/	/	

不法投棄防止パトロール事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>○環境衛生のため、自治会等による地域美化活動では、回収しきれない、ポイ捨てを含めた不法投棄の防止及び回収を行い、環境衛生に寄与するため、必要性は高い。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>○パトロール重点実施地区を中心に、年間200回以上のパトロール等の実施した。 ○自治会に不法投棄防止フェンス原材料を配布し、不法投棄多発地帯に不法投棄防止フェンスを地元施工により設置した。(1か所) ○警察と連携し、パトロール及び現地周辺調査を行いながら、京都府と協議して注意喚起看板の作成、設置した。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>・パトロール活動は目標どおり実施し、不法投棄ごみを回収することで不法投棄行為を抑制し、生活環境の保全に努めることができた。 ・不法投棄が無くなることを目標としているが、現状は、回収と再発の繰り返しであり、効果的な対策をしつつ、生活環境の保全のためには、パトロール活動により、回収を継続する必要がある。</p>		
改善策	<p>・警察や京都府と連携を取り、繰り返し不法投棄がある地域のパトロール活動を強化し、不法投棄防止用立看板を設置し啓発を図る。 ・自治会とも連携して監視体制の強化。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>本事業は、不法投棄防止パトロールだけでなく、その他に不法投棄防止に関する調査、監視業務や看板設置、チラシ等での啓発業務もあり、令和6年度から実態に合わせた事業名に改める。 【不法投棄防止パトロール事業】→【不法投棄対策事業】</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	資源ごみ集団回収報奨事業					事業コード	540113					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり					
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成				施策コード	222					
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生					
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	172	頁
計画期間	開始年度	平成3年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市資源ごみ集団回収団体報奨金支給要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	各種市民団体の自主的な資源ごみの集団回収により、環境パークへ持ち込まれるごみ量の減少と処理費用の削減を図るとともに、PTA、子ども会、老人会などの団体による回収活動を通じて、子どもから高齢者まで、すべての人がごみの減量・分別・リサイクルの必要性を実感し、環境問題の大切さを認識している循環型社会のまちづくりを実現する。											
対象者	全市民	対象者数	75,948	単位あたりコスト	0.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	登録団体											
事業概要 (箇条書き)	営利を目的としない団体(PTA、子ども会、自治会など)による資源ごみ(新聞、雑誌、段ボール、空き缶、廃食用油など)の集団回収に対し、資源ごみ1kgあたり3円(廃食用油の場合は1リットルあたり3円)の報奨金を支給することで市民の自主的な活動を後押しし、ごみの減量、リサイクルを進める。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容									
	報償費	3,891	資源ごみ集団回収団体報奨金									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,780	4,094	3,799	3,892				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	4,780	4,094	3,799	3,892					
予算財源内訳	① 一般財源	2,390	2,047	2,014	1,946				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	2,390	2,047	1,785	1,946				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	4,780	4,094						
	③ 執行額	3,570	3,891						
	④ 執行率	74.7%	95.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.18 / 0.00	0.25 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	1,440	2,000						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,010	5,891							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	資源ごみ集団回収報奨事業(きょうと地域連携交付金)	種類	衛生費府補助金	実績金額	1,052	決算附属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	リサイクル率	%	14.7 / 16	14.6 / 16	16 / 24.4	/ 24.5	28.9
	一人あたりのごみ排出量	g/人日	538.7 / 529.9	534.3 / 527.2	522.5 / 524.6	/ 521.9	503.5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	資源ごみ集団回収量	t	1072 / 1737	1190 / 1713	1297 / 1696	/ 1683	1606
	単位あたりコスト		3.0	3.0	3.0		
	団体		/	9 /	/	/	資源ごみ集団回収報奨事業
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	子ども会、PTA、福祉団体、老人会など多くの団体の協力により資源ごみの収集を行っているが、本市のリサイクル率を上げるため、必要な事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	資源回収により処理されることで、本市の処理コスト削減が図れたとともに、市民のリサイクル意識向上が図れた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○回収量:1,297t ○次年度、団体数をさらに増やすため、過去登録していて今年度登録のない団体それぞれに聞き取り調査を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民による積極的な資源ごみ集団回収により、環境パークのごみの持ち込み量を減らすことに貢献している。 ・目標値達成のためには、回収量の増加が必要であるが、新型コロナウイルスや小中学校の統廃合による各団体の解散の影響もあり、集団回収の取り組みが下火となっており、活動意欲を高めるための啓発等を検討しなければならない。 ・今後の課題としては、新たな登録団体の参加の呼びかけをして行く必要があり、広報ふくちやまや、家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット配布による周知が必要となる。 		
改善策	通常行っている「広報ふくちやま」や、令和5年2月全面改訂した「家庭ごみ正しい分け方・出し方パンフレット」の周知するほか、未だ団体登録をされていない、団体(老人会(各クラブ)及び小中学校(PTA、子ども会、各クラブ等々)に集団回収を実施していただけるよう個別に調査を行い、団体登録可否の理由等を分析し、新たな啓発方法を検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	清掃管理一般事業				事業コード	540119					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり					
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成			施策コード	222					
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課			所属長	四方 幸生					
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	01 清掃総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	170	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・廃棄物処理等の市民サービスを充実させるために、環境パークの運営に関する一般行政事務を円滑に進めることを目的としている。 ・一般事務に要する予算を一括することで、円滑な予算管理が進み事務の効率化を進める。										
対象者	全市民			対象者数	75,948		単位あたりコスト	0.5			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・環境施策に関する調査回答、連絡調整など、一般的な事務を行った。(課の庶務、予算の管理、執行) ・全国都市清掃会議の年会費の負担、旅費などの全般に渡る事務的経費を一括して賄う。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容							
	旅費	23		会計検査書類提出ほか							
	需用費	535		消耗品費(用度物品PPC用紙ほか)、印刷製本費							
	役務費	1,001		通信・電話料等、郵送料、保険料							
	使用料及び賃借料	1,075		デジタル複合機賃借料(使用料)							
負担金補助及び交付金	97		全国都市清掃会議年会費								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3,125	3,239	3,155	2,860			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①~③)	3,125	3,239	3,155	2,860				
予算財源内訳	① 一般財源	2,218	2,431	2,486	2,191			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	907	808	669	669			
決算情報	① 流充用額	△ 527	0					
	② 配当予算	2,598	3,239					
	③ 執行額	2,598	2,731					
	④ 執行率	100.0%	84.3%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	4.54 / 0.00	4.64 / 0.49	/	/			
	② 概算人件費	36,320	38,345					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	38,918	41,076						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	自動販売機設置貸付収入(生活環境課)	種類	財産貸付収入	実績金額	511	36	頁
		環境パーク広告収入		雑入		158	46	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	定性的評価			/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	文書処理件数	件	886 / 700	825 / 700	723 / 700	/ 700	700以下
	単位あたりコスト		3.4	3.1	3.8		
	単位あたりコスト		/	11 /	/	/	清掃管理一般事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR4年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境行政事務の円滑な実施のために必要な事業であり、市民サービスの充実に繋がっている。事務を進める上で必要な事業である。 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減に努めることが必要であり、最低限の経費で済むよう事務の効率化などに心がけている。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動実績は文書処理件数としている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事務執行や、行政サービスの充実という目標の達成状況を評価する適切な指標の設定が難しい。 ・本事業の執行を通じて、環境パークの安定的で円滑な業務執行につながった(定性的評価) 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄をなくすため、必要な事務処理と必要な経費の見極めを行い、経費削減に努める。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	3R(スリーアール)推進事業					事業コード	540131					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成			施策コード	222						
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課			所属長	四方 幸生						
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	172	頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	家具等の修理再生品の販売及びリサイクル体験教室を通じて、3R(スリーアール)のリデュース(ごみを減らす)・リユース(くり返し使う)・リサイクル(資源として再生利用する)に対する市民の意識向上を図り、多くの市民が3Rに取り組むことで、循環型社会形成の意識が向上した社会を実現する。											
対象者	全市民	対象者数	75,948	単位あたりコスト	0.1							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	公益社団法人福知山市シルバー人材センター、エコ美遊											
事業概要 (箇条書き)	1 環境パークに持ち込まれた再生利用可能な廃棄物を、修理再生し、リサイクルプラザで展示販売する。 ①展示販売品 ②修理再生家具の販売 ③衣類などの無償譲渡 2 環境パークに持ち込まれた再生利用可能な廃棄物を活用し、リサイクルプラザ2階の体験コーナーで、3Rの重要性について学習後、実際にガラス細工や布リフォームなどを体験してもらい、家庭や地域などで学んだ技術を活用してもらう。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容									
	需用費	4	資材									
	役務費	5	保険料									
	委託料	2,255	体験教室及びリユースショップ運営委託、廃棄家具修理再生委託									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,567	2,562	2,550	2,879			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①～③)	2,567	2,562	2,550	2,879				
予算財源内訳	① 一般財源	907	957	949	1,142			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	1,308	1,281	1,275	1,439			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	352	324	326	298			
決算情報	① 流充用額	0	△ 252					
	② 配当予算	2,567	2,310					
	③ 執行額	2,027	2,264					
	④ 執行率	79.0%	98.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.65 / 0.00	0.25 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	5,200	2,000					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,227	4,264						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	3R推進事業(きょうと地域連携交付金)	種類	衛生費府補助金	612	28	決算附属資料	頁
		リユースショップ、修理再生家具類		物品売払収入	213	36		
		体験教室参加者材料費		雑入	108	48		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	リサイクル率	%	14.7 / 16	14.6 / 16	16 / 24.4	/ 24.5	28.9
一人あたりのごみ排出量	g/人日	538.7 / 459.6	534.3 / 527.2	522.5 / 524.6	/ 521.9	503.5	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	家具等の販売数	点	293 / 320	277 / 320	122 / 320	/ 320	320
	単位あたりコスト		10.3	7.3	18.6		
	体験教室参加者数	人	423 / 660	301 / 660	346 / 660	3 R (スリーアール) 推進事業	660
単位あたりコスト		7.2	6.7	6.5			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 体験教室や家具販売には毎回多くの申込みがあり、ニーズはある。 リサイクル啓発が目的であり、営利目的の事業者が実施するには適さない事業である。 リサイクル品の販売数や体験教室参加者数が目的ではなく、啓発効果の大きさが重要であり、本事業に参加した市民がごみ減量化及びリサイクル意識を更に高める事業内容となるよう、令和元年度より体験教室の冒頭に、教室の目的や3Rの重要性について、映像教材により学習してもらう講習を行っている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 技能と経験をもった市民団体に委託することにより、効率的な事業を図っている。 令和4年度において福知山市の「家庭ごみの正しい分け方・出し方」のパンフレットに環境に配慮した取り組み(環境学習(リサイクル体験教室)の開催及び修理再生家具等の抽選展示販売)に関するページを新たに設け、ごみの減量化の啓発を行った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。 成果目標については「未来創造福知山」及び一般廃棄物処理基本計画に基づき設定した。(R4以降は「まちづくり構想 福知山」の成果指標及び一般廃棄物処理基本計画に基づき設定) 家具等の修理再生品の販売の実施。 リサイクル体験教室及び施設見学の実施。 リサイクル体験教室メニューの見直し(過去の申し込み多数の教室を中心に実施及び「つば広ぼうし」と言ったメニューも取り入れた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 修理再生家具等の販売及びリサイクル体験教室は、市内では数少ないリサイクル啓発の場となっている。 市民のリサイクル意識の向上を促すことが目的であるということ意識しながら、事業を進める必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化、リサイクルの意識を高めるためには3Rの啓発が重要だと考える。 市民のニーズあった「修理再生家具」の販売、また体験教室の内容の検討が必要。 体験教室受講者のすそ野を広げるため、展示可能な市の施設(図書館など)で環境啓発展示を実施する。【年間2回(6.12月予定)】 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ごみ焼却施設修繕事業					事業コード	540138					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり					
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成				施策コード	222					
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生					
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	172	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法											
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	環境パーク・運転・維持管理事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、リサイクルプラザ修繕事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	平成12年度から稼働している焼却施設の各機械施設及び電気設備を計画的に改修、整備することで、法令及び公害防止協定を遵守するとともに、施設の延命化を図り廃棄物の適正処理を行う。											
対象者	全市民			対象者数	75,948		単位あたりコスト	2.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)関西支店、島津システムソリューションズ(株)											
事業概要 (箇条書き)	・福知山市内からの燃やすごみを、法令及び公害防止協定を遵守し、適正かつ安全に焼却処理を行った。 ・市民サービスの充実に図るため、ごみ焼却施設の設備の改修工事を行った。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	工事請負費	107,800		ごみ焼却施設1・2号炉用白煙防止用空気加熱器・温水発生器更新工事								
	工事請負費	2,233		福知山市ごみ焼却施設中央監視制御装置改修工事								
	工事請負費	58,883		福知山市ごみ焼却施設ごみ焼却炉(1号炉)耐火物ほか改修工事								
	需用費	9,779		福知山市ごみ焼却施設ごみ焼却炉(2号炉)耐火物緊急修繕								
需用費	21,517		ごみ焼却施設消耗品費・修繕料ほか									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	136,253	195,783	384,736	373,877				
	② 補正予算	△ 7,700	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	128,553	195,783	384,736	373,877					
予算財源内訳	① 一般財源	35,661	2,783	14,636	3,012				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	92,892	183,300	351,000	352,321				
	⑤ その他特財	0	9,700	19,100	18,544				
決算情報	① 流充用額	△ 11,197	4,639						
	② 配当予算	117,356	200,422						
	③ 執行額	116,060	200,212						
	④ 執行率	98.9%	99.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.52 / 0.00	0.54 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	4,160	4,320						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	120,220	204,532							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ごみ焼却施設修繕事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)		基金繰入金	8,995	40	決算附属資料	52	頁
		ごみ焼却施設修繕事業(旧合併特例)		衛生債	169,700				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	公害防止協定、協定値の遵守			協定値以下 / 協定値以下	協定値以下 / 協定値以下	協定値以下 / 協定値以下	協定値以下 / 協定値以下
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	ごみ焼却量	t	17780 / 17577	17700 / 17325	20427 / 15123	14921	12644
	単位あたりコスト		4.1	6.6	9.8		
	単位あたりコスト		/	15 /	/	/	ごみ焼却施設修繕事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な改修を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標については「まちづくり構想福知山」基本政策及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。 改修計画において適切な優先順位を設定し、設備の延命化を図った。 改修を行う上で有効な技術等を常に研究した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の計画的な改修を行うことにより施設の延命化を図り、燃やすごみの安定かつ適正な焼却処理が行なえた。 ごみの焼却処理で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る適正な測定結果を得た。 施設の老朽化が進行する中、緊急的な修繕対応を要しないための改修計画の見直しを行いつつ改修工事を実施していくことができた。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却施設について、安定的かつ適正に廃棄物処理を行うとともに、さらなる効率化と経費の削減を図る。 改修工事対象設備の優先順位を随時見直し、安定的な施設運営を行いながら改修費用の平準化を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	水処理施設運転・維持管理事業					事業コード	540142					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成			施策コード	222						
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課			所属長	四方 幸生						
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	172	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・福知山市環境パーク及び三和町・夜久野町・大江町の最終処分場から流れ込む浸出水を適正に処理するための水処理施設をそれぞれ設置している。その施設で処理された浸出水は、放流水として河川放流をするが、その放流水質は、法令の排出基準及び環境保全協定に定められた基準を遵守しなければならない。そのため、水処理施設の機械・電気設備の計画的な整備修繕を行うとともに、水処理施設の適正かつ安定した稼働と適切な施設管理を図ることを目的とする。											
対象者	全市民			対象者数	75,948		単位あたりコスト	0.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター、(株)アクアテック、株式会社石丸浄水センター、株式会社クリア、社会福祉法人福知山学園											
事業概要 (箇条書き)	・不燃物理立処分場から排出される汚水(浸出水)を、公共水域基準及び公害防止協定値以下まで処理するため浸出水処理施設の安定かつ確実な稼働の維持管理を行った。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	需用費	16,143		施設薬品代、施設消耗品購入、光熱水費、修繕料								
	役務費	277		通信運搬費(通信・電話料)、手数料(法定点検手数料)								
	委託料	19,966		維持管理業務、その他業務委託								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	86,233	41,163	42,595	41,256				
	② 補正予算	△ 46,000	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	40,233	41,163	42,595	41,256					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	13,647	18,224				
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	4,700	0	0				
	⑤ その他特財	40,233	36,463	28,948	23,032				
決算情報	① 流充用額	0	△ 4,777						
	② 配当予算	40,233	36,386						
	③ 執行額	38,900	36,386						
	④ 執行率	96.7%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.24 / 0.00	0.23 /	/	/				
	② 概算人件費	1,920	1,840						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	40,820	38,226							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	産業廃棄物手数料	種類	清掃手数料	実績金額	17,033	決算附属資料	14	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下 / 協定値以下	協定値以下 / 協定値以下	協定値以下 / 協定値以下	協定値以下
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	放流量	t	51682 / 120450	44853 / 120450	45323 / 120450	/ 120450	120450
	単位あたりコスト		0.6	0.9	0.8		
	単位あたりコスト		/	17 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、埋立処分場からの浸出水処理を行うことで、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標についての、遵守すべき法令及び公害防止協定について協定値をクリアした。 活動実績は水処理施設の処理能力に対しての放流量量としているが、下回っている。 施設の整備・維持管理における有効な技術等を常に研究した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 排水基準及び公害防止協定を遵守するため水処理施設の適正管理は必要である。 施設の適正管理を行うことにより公害防止協定の排水基準を守るうえで有効である。 水処理施設放流水の排出基準及び公害防止協定基準を順守できた。 埋立終了した処分場の廃止に向けた手続きが必要となっている。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 今後も排水基準及び公害防止協定を遵守するため水処理施設の適正管理を行なう必要がある。 廃止に向けた手続きの必要のある処分場において、法に基づく監視を行うための業務委託を令和5年度より実施する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	第4期埋立処分場整備事業					事業コード	540148					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成			施策コード	222						
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課			所属長	四方 幸生						
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	172	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	一般廃棄物処理基本計画、福知山市循環型社会形成推進地域計画		R5現在の状況	継続中			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	第1期・第2期埋立処分場整備事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・既設埋立処分場が約10年後には全て埋立が完了するため、第1期・第2期埋立処分場隣接に第4期埋立処分場の整備を行い埋立容量を確保する。											
対象者	全市民	対象者数	75,948	単位あたりコスト	0.2							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(公)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、キタイ設計(株)京都支社											
事業概要 (箇条書き)	第4期埋立処分場の整備に追加に必要な用地の測量を実施した。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容									
	委託料	7,854	第4期埋立処分場公囑測量業務									
	委託料	3,740	第4期埋立処分場設置申請業務									
	委託料	345	第4期埋立処分場整備事業調査業務									
	委託料	385	福知山市電子計算機用ソフトウェア(京都府土木工事設計積算システム)保守業務									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	40,385	14,705	451,968	394,064		
	② 補正予算	0	0	0	0		
	③ 繰越予算	61,432	0	0	0		
	前年度繰越	61,432	0	0			
	次年度繰越	0	0				
小計(①~③)	101,817	14,705	451,968	394,064			
予算財源内訳	① 一般財源	51,004	385	57,435	31,764		
	② 国支出金	26,813	0	98,333	122,000		
	③ 府支出金	0	0	0	0		
	④ 地方債	24,000	10,000	296,200	240,300		
	⑤ その他特財	0	4,320	0	0		
決算情報	① 流充用額	1,051	0				
	② 配当予算	102,868	14,705				
	③ 執行額	96,903	12,324				
	④ 執行率	94.2%	83.8%				
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.29 / 0.00	0.31 / 0.00	/	/		
	② 概算人件費	2,320	2,480				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	99,223	14,804					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	第4期埋立処分場整備事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)	種類	基金繰入金	4,197	42	頁
		第4期埋立処分場整備事業(旧合併特例)	衛生債	実績金額	7,400	52	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	埋立量確保	m ²	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	単年当たり事業進捗率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100	100
	単位あたりコスト		399.0	969.0	123.2		
	単位あたりコスト		/	19 /	/	/	第4期埋立処分場整備事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物の処理は市の責務であり、最終処分場の確保の必要性は高く、整備に向けて追加で必要となる用地の測量を行った。 既設埋立処分場の残余量が整備完了までに逼迫状況になる。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 当該処分場用地は確保されており、有効に利用することで追加で必要な処分場用地を最小限に抑えた。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標、活動目標については各年度の予定事業を実施し、段階的に埋立処分場の整備を行い、埋立量の確保を図ることとした。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 次期最終処分場として必要不可欠な施設整備である。 令和11年度予定の供用開始に向けて計画的に工事を進める必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 第1期・第2期埋立処分場の高上整備を実施し、埋立処分場の残余量を確保しながら計画的に事業を進める。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	環境パーク運転・維持管理事業				事業コード	540154					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり					
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成			施策コード	222					
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課			所属長	四方 幸生					
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	172	頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理施設運転・維持管理事業、リサイクルプラザ修繕事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民の生活から日常的に排出される廃棄物の処理を行なう上で、施設を良好な状態で維持しなければ、排出されるごみを適切に処理できない。このため、環境パークの施設を健全に保てるよう維持管理に努め市民生活の安全安心を図る。										
対象者	全市民	対象者数	75,948	単位あたりコスト	4.4						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)福知山クリーンセンター、福知山環境事業協同組合、(公社)福知山市シルバー人材センター										
事業概要 (箇条書き)	・現在のごみ焼却施設は平成12年度、またリサイクルプラザは平成15年度から稼働を始め、「福知山市環境パーク」として約22年が経過している。 ・ごみ処理は、市民生活に密着したライフラインの一部であり、法に則した燃やすごみの完全な処理が、市民の快適な衛生生活を提供することとなる。住民サービスの充実を図るため、機器の運転・維持管理に必要な施設の整備を行った。 ・特定財源 一般廃棄物手数料・清掃手数料・19,199千円										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	報酬ほか	1,545	報酬(臨時職員報酬)、職員手当等、共済費、報償費、旅費ほか								
	需用費	148,701	ごみ焼却施設薬品費ほか消耗品、ごみ焼却施設灯油代ほか燃料費、環境パーク電気代ほか光熱水費、施設修繕料ほか								
	役務費	2,114	手数料(法定点検手数料・その他手数料)、保険料(自動車損害賠償保険料・環境パーク他損害保険料)ほか								
	委託料ほか	99,812	環境パーク施設管理業務委託(環境パーク周辺除雪業務・環境パーク埋立処分場整地業務・梅原処分場整地業務)、複写機使用料、車両リース料ほか								
	備品購入費ほか	46,803	備品購入費(自走式二軸破砕機購入費ほか)、負担金補助及び交付金(年会費等)、公課費(自動車重量税等)ほか								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	237,173	260,922	263,045	244,409				
	② 補正予算	0	42,860	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	237,173	303,782	263,045	244,409					
予算財源内訳	① 一般財源	0	42,860	82,486	77,491				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	2,035	2,178	2,178	1,859				
	④ 地方債	5,700	42,700	0	0				
	⑤ その他特財	229,438	216,044	178,381	165,059				
決算情報	① 流充用額	△ 8,936	△ 4,293						
	② 配当予算	228,237	299,489						
	③ 執行額	227,435	298,975						
	④ 執行率	99.6%	99.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	3.17 / 3.29	2.95 / 3.29	/	/				
	② 概算人件費	33,585	31,825						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	261,020	330,800							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	産業廃棄物手数料	種類	清掃手数料	実績金額	67,474	14	決算附属資料	頁
		環境パーク運転・維持管理事業(きょうと地域連携交付金)		衛生費府補助金	1,005		28		
		環境パーク運転・維持管理事業(旧合併特例)		衛生債	43,700		52		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下 / 協定値以下	協定値以下 / 協定値以下	協定値以下 / 協定値以下	協定値以下 / 協定値以下
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	廃棄物処理量(焼却、リサイクルプラザ)	t	23750 / 24584	23074 / 24242	23057 / 23973	23706	完全処理
	単位あたりコスト		9.2	9.9	13.0		
	単位あたりコスト		/	21	/		環境パーク運転・維持管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であるため、焼却処理等適切な処理を行うことで、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定を遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアした。 活動実績はごみ処理量としているが、計画量を下回った。 有効な技術等を常に研究し、運転管理に係る技術力の向上を図った。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の安全、適切な維持管理を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な廃棄物処理が行えた。 適正な運転・維持管理により、ごみ処理の過程で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行い、法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。 燃料費等の高騰によりごみ処理施設の運転に係る経費の増加が見込まれるため、最適な運転管理手法の検討が必要。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理を安定かつ適正に行なうとともに、運転管理に係る手法を研究し、さらに効率化と経費の削減を図る。 誰もが分かるごみ分別情報の提供(令和4年度に全面改訂した「家庭ごみ分別パンフレット」の外国版を作成する等) 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	リサイクルプラザ修繕事業					事業コード	540155				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成				施策コード	222				
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生				
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	174	頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和14年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	環境パーク運転・維持管理事業、ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民の生活から日常的に排出される廃棄物の再資源化を行なう上で、経年劣化に伴う性能低下が著しいリサイクルプラザの各機械設備部品を計画的に整備することで、リサイクルを適正に行っていく。										
対象者	全市民	対象者数	75,948	単位あたりコスト	1.6						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)関西支店、鎌長製衡(株)大阪支店、福知山環境事業協同組合										
事業概要 (箇条書き)	・容器包装プラスチック等の資源ごみの中間処理を行い、廃棄物の資源化を推進した。 ・住民サービスの充実に資するため、機器の運転・維持管理に係る経費を計上し施設の整備を行った。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	工事請負費	112,588	リサイクルプラザ不燃ごみ供給コンベアほか改修工事								
	委託料	2,030	埋立処分場不燃ごみ破碎業務								
	委託料	534	リサイクルプラザ再生処理施設ペットボトル圧縮梱包機ほか点検業務								
	需用費	5,138	リサイクルプラザ施設消耗品費・修繕料ほか								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	95,947	138,662	131,933	137,800	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0			
小計(①~③)	95,947	138,662	131,933	137,800		
予算財源内訳	① 一般財源	32,247	7,262	6,533	7,769	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	63,700	124,800	119,100	123,500	
	⑤ その他特財	0	6,600	6,300	6,531	
決算情報	① 流充用額	△ 11,340	△ 18,041			
	② 配当予算	84,607	120,621			
	③ 執行額	83,884	120,290			
	④ 執行率	99.1%	99.7%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.46 / 0.00	0.46 / 0.00	/	/	
	② 概算人件費	3,680	3,680			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	87,564	123,970				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	リサイクルプラザ修繕事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)	種類	基金繰入金	5,688	40
		リサイクルプラザ修繕事業(旧合併特例)		衛生債	106,900	52
				実績金額		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	搬入廃棄物の分別処理		完全処理 / 完全処理	完全処理	完全処理	完全処理	完全処理	完全処理	完全処理	完全処理	完全処理
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	リサイクルプラザ処理量	t	4105 / 3848	4014 / 3802	3854 / 3764	3726	完全処理				
	単位あたりコスト		8.1	20.9	31.2						
	単位あたりコスト		/	23 /	/	/	リサイクルプラザ修繕事業				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、廃棄物の分別処理及び再資源化を行うため、経年劣化の激しいコンベアほかの改修工事を実施した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な改修を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアし、搬入廃棄物の完全処理を行った。 活動実績はリサイクルプラザ処理量としているが、計画量を上回った。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の計画的な修繕を行うことにより、市内で発生するリサイクルごみの安定かつ適正な分別処理が行えた。 施設の老朽化が進行する中、効率的に改修工事を行い長寿命化を図る必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物を安定かつ適正に処理を行うとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。 改修工事対象設備の優先順位を設定し、改修費用の平準化を行うために策定した改修計画を基に事業を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	指定ごみ袋作製事業				事業コード	540165						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成			施策コード	222						
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課			所属長	四方 幸生						
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	174	頁
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、福知山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	有料指定ごみ袋の導入(家庭系一般廃棄物の有料化)により、費用負担を軽減しようとするインセンティブが生まれ、ごみの排出量の抑制やリサイクルの促進が期待できる。ごみの分別及び減量により、焼却施設や埋立処分場の負荷を減少させることで、延命化を図ることが可能となり、財政負担の軽減につながる。											
対象者	全市民			対象者数	75,948			単位あたりコスト	0.8			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	指定ごみ袋作製:(株)インテリムジャパン、販売:福大商事ほか5社											
事業概要 (箇条書き)	・家庭ごみの排出抑制と再資源化の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革のため、有料指定ごみ袋を作製し、分別収集を実施する。 ・指定ごみ袋を身近な店舗等で購入できるように、卸売・小売業者に販売を委託し、交付実績に応じて手数料を支払う。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	需用費	34,699		指定ごみ袋作製								
	役務費	25,229		指定ごみ袋交付処理手数料								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	42,420	61,715	61,306	60,080						
	② 補正予算	0	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0							
	次年度繰越	0	0								
小計(①~③)	42,420	61,715	61,306	60,080							
予算財源内訳	① 一般財源	180	0	0	0						
	② 国支出金	0	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0	0						
	⑤ その他特財	42,240	61,715	61,306	60,080						
決算情報	① 流充用額	9,189	△ 508								
	② 配当予算	51,609	61,207								
	③ 執行額	51,609	59,928								
	④ 執行率	100.0%	97.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.23 / 0.12	0.18 / 0.12	/	/						
	② 概算人件費	2,140	1,740								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	53,749	61,668									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	指定ごみ袋処理手数料	種類	衛生費手数料	実績金額	59,745	14	決算附属資料	46	50	頁
		指定ごみ袋広告収入		雑入	179						
		違約金(生活環境課)		雑入	2						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	一人あたりのごみ排出量	g/人日	538.7 / 459.6	534.3 / 527.2	522.5 / 524.6	/ 521.9	503.5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	ごみ収集量(可燃・不燃・プラ)	t	12046 / 11873	12020 / 11747	11671 / 11647	/ 11562	10487
	単位あたりコスト		3.3	4.3	5.1		
	指定ごみ袋作製枚数	枚	/	25 /	4451000 / -	/ -	指定ごみ袋作製事業
	単位あたりコスト				0.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ○有料指定ごみ袋により、費用負担を軽減しようとするインセンティブが生まれ、ごみの排出量の抑制やリサイクルの促進につながる。 ○卸売業者を通じ指定ごみ袋の販売を実施。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ○指名競争入札により、技能と経験を持った民間業者による価格競争が行われ、コスト削減と効率的な作製、ごみ袋の品質維持に努めた。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ○成果目標については「まちづくり構想 福知山」及び一般廃棄物処理基本計画に基づき設定した。 ○指定ごみ袋の在庫数を毎月管理し、社会情勢に留意しながら在庫不足が生じない数量で発注を行った。 ○ゼロカーボンシティへの取組みの一環として、石油資源の節約と温室効果ガス排出削減を目的に、燃やすごみ専用指定袋の素材を、石油由来のプラスチック100%のものから、植物由来のバイオマスプラスチックを25%配合したものへ変更した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・指定ごみ袋制度により、家庭ごみの排出抑制と再資源化の推進、排出量に応じた負担の公平化が図れている。 ・ごみの分別による適正なごみ処理の実施により、焼却施設や埋立処分場の負荷を減少させることができる。 ・指定ごみ袋の製造先が海外となり、世界情勢による原材料の不足や価格高騰が生じやすいため、早期の作製や適正な在庫管理により、市民に安定して供給できるよう取組む必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の契約締結・製造発注による安定的なごみ袋枚数の確保を図る。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ごみ収集運搬事業						事業コード	540171				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり					
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成				施策コード	222					
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生					
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	174	頁
計画期間	開始年度	昭和57年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民1人当たりのごみ排出量の削減を目指すため、市民から排出される家庭系廃棄物(可燃、不燃、容器包装プラスチック、資源ごみ、粗大ごみ等)の分別収集を確実に、衛生的で快適な生活環境を確保する。											
対象者	全市民			対象者数	76,037		単位あたりコスト	6.4				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(株)クリーンセンター、(有)福環、福知山環境センター企業組合、エコノスジャパン(株)、(公社)福知山市シルバー人材センター、(株)アクアテック、福知山環境事業協同組合											
事業概要 (箇条書き)	安定的で円滑な収集運搬を確実にするため、適切な市民対応ができる信用・技術・経験を有する業者へ委託する。 ゴミステーションの収集：可燃・不燃・容器プラ4者、資源ごみ3者 粗大ごみ等収集：2者											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容							
	委託料	485,601			廃棄物・資源ごみ収集運搬委託							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	474,072		474,070		500,939		510,866	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①~③)	474,072		474,070		500,939		510,866		
予算財源内訳	① 一般財源	329,848		287,547		332,201		350,514	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	144,224		186,523		168,738		160,352	
決算情報	① 流充用額	0		11,531					
	② 配当予算	474,072		485,601					
	③ 執行額	474,069		485,601					
	④ 執行率	100.0%		100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.47 /	0.00	0.37 /	0.08	/		/	
	② 概算人件費	3,760		3,160					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	477,829		488,761						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般廃棄物手数料	種類	衛生手数料		98,454		14	
		指定ごみ袋処理手数料		衛生手数料		77,740		14	
		粗大ごみ収集手数料		衛生手数料		2,864		14	
実績金額		決算附属資料				頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	一人あたりのごみ排出量	g/人日	538.7 /	459.6	534.3 /	527.2	522.5 /	524.6	/	521.9	503.5
分別不良によるごみ残し数	袋	20975 /	6200	19655 /	6200	20965 /	6200	/	6200	6200	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	ごみ収集量	t	13484 /	11603	13410 /	13149	13006 /	13023	/	12895	12012
	単位あたりコスト		35.1		35.4		37.3				
	単位あたりコスト		/		27 /		/		/		ごみ収集運搬事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	一般廃棄物の処理は市町村の責務であり、生活環境の保全のために収集業務の必要性は高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ○成果目標については「まちづくり構想福知山」及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。 ○分別不良ごみの場合、その都度、張り紙をして残すことにより、次回から適切に分別して出してもらうよう指導啓発を行うことにより、家庭ごみの減量に繋げている。 ○令和4年度において、家庭ごみの分別がよりわかりやすい福知山市の「家庭ごみの正しい分け方・出し方」のパンフレットを作成した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○分別不良により回収せず残してくるごみが多数あるが、繰り返し張り紙を行うことにより分別の徹底を促していく。 ○ライターやスプレー缶等によるパッカー車の火災事故を防止するため、継続して分別啓発が必要。 ○ごみ排出量の削減について、2R(リデュース、リユース)を呼びかけるなど啓発が必要。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○分別不良により回収せず残してくるごみが多数あるが、繰り返し張り紙を行うことにより分別の徹底を促していく。 ○ライターやスプレー缶等によるパッカー車の火災事故を防止するため、継続して分別啓発を推進していく。 ○ごみ排出量の削減について、2R(リデュース、リユース)を呼びかけるなど啓発していきたい。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	廃棄物処理施設等運転管理委託事業					事業コード	540172					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代についでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成			施策コード	222						
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課			所属長	四方 幸生						
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	174	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和13年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法、ダイオキシン類対策特別措置法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・環境パーク内のごみ焼却施設及びリサイクルプラザ・埋立処分場水処理施設(環境パーク・梅原・大油子・三河)の適正な運転管理を実施することにより、搬入された可燃・不燃ごみ及び資源ごみ等の焼却処理、資源化及び減量化を行なうとともに、廃棄物の衛生的かつ効率的な処理を行い、回収資源の還元による省資源化と廃棄物の減量及び埋立処分場の延命化を図る。											
対象者	全市民	対象者数	75,948	単位あたりコスト	2.2							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	株式会社ファノバ 福知山営業所											
事業概要 (箇条書き)	・焼却施設、リサイクルプラザ、水処理施設(環境パーク及び旧三町)の運転管理を委託し、業者のもっている専門的な知識を生かして、安定した維持管理を行う。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容									
	委託料	168,128	福知山市廃棄物処理施設運転・維持管理業務									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	145,002	168,129	168,129	168,129			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①~③)	145,002	168,129	168,129	168,129				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	36,258	52,018			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	145,002	168,129	131,871	116,111			
決算情報	① 流充用額	△ 2,442	0					
	② 配当予算	142,560	168,129					
	③ 執行額	142,560	168,128					
	④ 執行率	100.0%	100.0%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.06 / 0.00	0.09 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	480	720					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	143,040	168,848						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	産業廃棄物手数料	種類	清掃手数料	実績金額	63,874	14	頁
		下水道(灰・しさ)処理手数料		清掃手数料	14,282		14	
		市庁内ごみ手数料		清掃手数料	15,461		14	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下 / 協定値以下	協定値以下 / 協定値以下	協定値以下 / 協定値以下	協定値以下 / 協定値以下	協定値以下
	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	廃棄物処理量	t	23750 / 24584	22682 / 24242	23057 / 23973	23706	完全処理
	単位あたりコスト		6.0	6.3	7.3		
	単位あたりコスト		/	29 /	/		廃棄物処理施設等運転管理委託事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であるため、廃棄物処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備を行うことで、緊急的な対応を未然に防ぎつつ施設の延命化をはかった。また、日常的に維持管理を行う中で点検整備の技術向上を果たすことによりコスト縮減、効率化を図った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアした。 活動実績はごみ処理量としているが、計画量を下回った。 有効な技術等を常に研究し、運転管理に係る技術力の向上を図った。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の安全、適切な維持管理を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な廃棄物処理が行なえた。 ごみ処理の過程で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。 老朽化が進む施設の予防保全に向けた運転管理が必要となる。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。 過去の運転データを基に効率的な運転手法を検討する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	リサイクル関連事業					事業コード	540194					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり					
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成				施策コード	222					
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生					
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	174	頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	再生資源物のリサイクル化を促進し、ごみの減量化を図る。 ごみ処理過程での火災や爆発事故を防止する。											
対象者	全市民				対象者数	76,037		単位あたりコスト	1.3			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター、(福)ふくちやま福祉会、(福)みつみ福祉会、(株)アクアテック、日本容器包装リサイクル協会ほか											
事業概要 (箇条書き)	リサイクルプラザに搬入された資源ごみをリサイクル事業者の引き取り条件に適合されるための中間処理を行う業務を委託する。また、それに関する施設や作業用機械等の維持管理を行う。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容							
	需用費、役務費	2,187			消耗品、燃料代等、不法投棄ごみ処分等経費							
	委託料	89,651			リサイクル関連業務委託							
	使用料及び賃借料	2,574			リサイクルプラザ危険ごみ破碎処理装置賃借							
	備品購入費	228			体温計・工場扇購入							
	負担金補助及び交付金	61			廃蛍光管・乾電池等処理負担金							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	89,580	94,599	94,847	98,537						
	② 補正予算	0	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0							
	次年度繰越	0	0								
小計(①~③)	89,580	94,599	94,847	98,537							
予算財源内訳	① 一般財源	63,819	43,954	38,874	35,544						
	② 国支出金	0	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0	0						
	⑤ その他特財	25,761	50,645	55,973	62,993						
決算情報	① 流用額	0	417								
	② 配当予算	89,580	95,016								
	③ 執行額	89,338	94,701								
	④ 執行率	99.7%	99.7%								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.62 / 0.00	0.47 / 0.00	/	/						
	② 概算人件費	4,960	3,760								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	94,298	98,461									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般廃棄物手数料	種類	衛生手数料	実績金額	17,450	14	決算附属資料	36	48	頁
		空き缶、空きびん、金属くず、発泡スチロール、紙パック(紙)ボトル、小型家電		物品売払収入	34,444						
		有償入札拠出金		雑入	19,265						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	リサイクル率	%	14.7 / 16	14.6 / 16	16 / 24.4	/ 24.5	28.9
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	リサイクル量(中間処理分)	t	2932 / 2254	2859 / 1576	3191 / 1560	/ 1548	2060
	単位あたりコスト		40.6	31.2	29.7		
	単位あたりコスト		/	31 /	/	/	リサイクル関連事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	再資源化を促進することにより、市民のごみ分別の意識を高め、埋立処分場の延命化に繋がるため必要性が高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>経験をもった民間事業者に業務を委託することにより、効率的な運用を図る。資源毎に資源引渡し業者と売払契約を締結し、再資源化を図る。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>成果目標については「まちづくり構想福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。</p> <p>○環境パークリサイクルプラザ内で資源毎に分別・保管及び資源毎に引渡しを実施した。</p> <p>○令和4年度において、家庭の資源ごみの出し方、分別がよりわかりやすい、福知山市の「家庭ごみの正しい分け方・出し方」のパンフレットを作成した。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	一般廃棄物処理基本計画で示しているリサイクル率の目標を達成するためには、引き続き、ごみの減量化及び分別排出の精度を高める啓発に努め、基本計画のリサイクル化施策の実行を促進させる必要がある。		
改善策	<p>○資源ごみのリサイクル率を向上させていくために、引き続き、ごみ分別排出の精度向上の啓発等、効率的かつ適正な内容となるよう調査・検討する。</p> <p>○令和5年度からペットボトルの水平リサイクル(ボトルtoボトル)を実施し、再資源化に加えて、CO₂排出量を抑える取組みを実施するなどの環境に配慮した再資源化事業を実施する。</p> <p>○プラスチック資源循環促進法が施行され、製品プラスチックの再商品化が市町村に義務付けられたことに伴い、再商品化手法等について調査・検討を進める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山鉱山坑廃水処理場管理運営事業					事業コード	540601				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり					
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成			施策コード	222					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	大江 秀也					
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	198	頁
計画期間	開始年度	平成11年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	旧福知山鉱山の坑道から排出される強酸性(pH3)で金属成分を含む廃水を適正に処理し、河川に放流することで市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全を図る。										
対象者	大江町の市民			対象者数	4,130		単位あたりコスト	4.8			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	維持管理・導水管洗浄業務委託：トミタ環境(株) 汚泥埋立処分業務：(株)京都環境保全公社 水質検査業務：(一社)京都微生物研究所 他										
事業概要 (箇条書き)	・旧福知山鉱山の坑道から排出される強酸性(pH3)で金属成分を含む廃水を導水管により処理場まで流し、消石灰により中和するとともに、重金属を高分子凝集剤により沈殿させ、ろ過した処理水を河川に放流する。 ・沈殿した汚泥は脱水し産業廃棄物として埋立処分する。 ・年間365日稼働										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容							
	需用費	6,152		施設修繕料、光熱水費、消耗品費(消石灰、高分子凝集剤等)							
	役務費	67		保険料、脱水汚泥溶出検査等							
	委託料	11,217		維持管理業務、導水管洗浄業務、汚泥埋立処分業務、配管洗浄業務等							
	使用料及び賃借料	14		施設用地賃借料							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	19,418		17,823		23,742		27,130		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①~③)	19,418		17,823		23,742		27,130			
予算財源内訳	① 一般財源	2,427		3,502		3,059		3,858		
	② 国支出金	14,552		12,273		17,725		19,944		
	③ 府支出金	2,425		2,045		2,954		3,324		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	14		3		4		4		
決算情報	① 流充用額	△ 3,394		0						
	② 配当予算	16,024		17,823						
	③ 執行額	15,962		17,450						
	④ 執行率	99.6%		97.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.53 / 0.00		0.28 / 0.00		/		/		
	② 概算人件費	4,240		2,240						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	20,202		19,690							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	休廃止鉱山鉱害防止事業		種類	商工費国庫補助金		11,100		20	頁
		休廃止鉱山鉱害防止事業			商工費府補助金		1,850		30	
		電柱等占用料			商工使用料		4		10	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	処理日数のうち水質が目標基準内で処理できた日数	日	365 / 365	365 / 365	365 / 365	365 / 365	365 / 365
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	処理日数	日	365 / 365	365 / 365	365 / 365	365 / 365	365
	単位あたりコスト		47.5	43.7	47.8		
	水質検査	回	12 / 12	332 / 12	12 / 12	12 / 12	福知山鉱山坑廃水処理場管理運営事業
単位あたりコスト		1443.5	1330.2	1454.2			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>現在でも処理前の原水は基準値を逸脱した水質であり廃水処理の必要がある。また、鉱山事業主が不在となった鉱山のため行政が行う必要がある。</p> <p>鉱山からの廃水を適正に処理し、河川に放流することは、市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全につながるため必要性は高い。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>受益者である在田川流域の住民は少数であるが、広域的な見方をすると在田川が合流する由良川下流域にも影響する事業である。維持管理費や薬剤費、運搬業務等は毎回複数業者による入札(見積徴収)を実施しており、経費削減に努めている。</p> <p>また、修繕計画を国や府と共有し、補助金を活用することによりコスト削減を図っている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>維持管理運転及び施設修繕等を計画的に実施しており、365日基準内の水質で坑廃水処理が行えている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理や施設等修繕を計画的に行うほか、緊急修繕等にも対応し、目標基準内での坑廃水処理を実行している。 坑廃水処理を外部委託しているものの、委託業者に指示するにあたり、水質管理や施設修繕等に関する一定の技術的な知識、能力が求められる。専門的な知識を有する技師の参画が必要である。 令和5年6月18日に旧福知山鉱山から排出される坑廃水が処理場の処理能力を超えたことにより発生した未処理坑廃水の流出事故を受け、再発防止策を検討する必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 本施設は稼働から20年以上が経過しており、毎年、老朽化や磨耗劣化等により部品等の交換や修繕を実施している。 本施設を運転し続けることが、市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全を図るためには必要と考えるが、処理費用は年間約20,000千円の処理費用がかかっている。 修繕計画を国や府と共有し、補助金を活用することによりコスト削減を図っている。また、コスト削減や効率化のため本施設に反映できる最先端の処理方法がないか調査研究機関へ接触を図っている。 未処理坑廃水の流出を受け、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)と連携し、今後の対応方針を検討する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>令和5年6月18日に旧福知山鉱山の坑廃水が処理場の処理能力を超えて排出され、河川に流出した事故が発生した。今後このような事故が起こらないように、対策検討の結果を踏まえて計画的に工事を実施する。また、鉱山の専門機関であるJOGMECに調査協力を依頼し、同機構の助言を踏まえながら対策を実施する。</p> <p>市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全のため、排水水を適切に処理する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	水洗化促進補助事業				事業コード	540318						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり						
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成				施策コード	222					
事業担当	所属	75010000 上下水道部 経営総務課			所属長	間島 哲哉						
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	01 清掃総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	170	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市循環型社会形成推進地域計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、福知山市浄化槽維持管理事業補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	浄化槽整備区域内の水洗化を促進することで、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図る。											
対象者	浄化槽整備区域内の居住者等			対象者数	3,537		単位あたりコスト	20.3				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (簡条書き)	浄化槽整備区域において、合併処理浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進するため、10人槽以下のし尿と雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽(以下「合併処理浄化槽」という。)を設置する者に対し、浄化槽設置整備事業補助金を交付する。 また、合併処理浄化槽を適正に維持管理している者に対し、浄化槽維持管理事業補助金を交付する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	需用費	24		印刷製本費								
	役務費	66		郵送料								
	負担金補助及び交付金	63,701		合併処理浄化槽整備事業補助金、合併処理浄化槽維持管理事業補助金、浄化槽汚泥処理負担金								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	64,070		65,730		66,302		73,035		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
		前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)	64,070		65,730		66,302		73,035			
予算財源内訳	① 一般財源	60,432		63,474		63,874		70,607		
	② 国支出金	1,819		1,128		1,214		1,214		
	③ 府支出金	1,819		1,128		1,214		1,214		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	1,399		0						
	② 配当予算	65,469		65,730						
	③ 執行額	65,469		63,791						
	④ 執行率	100.0%		97.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.70 / 0.00		1.00 / 0.00		/		/		
	② 概算人件費	5,600		8,000						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	71,069		71,791							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	合併処理浄化槽設置整備事業		種類	衛生費国庫補助金		639		18	頁
		合併処理浄化槽設置整備事業			衛生費府補助金		492			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	水洗化率	%	69	/	-	69.2	/	-	69.2	/	-	70.2
処理人口	人	2563	/	-	2506	/	-	2446	/	-	2494	2476
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	新規設置数	基	5	/	14	9	/	14	4	/	9	9/年
	単位あたりコスト		12601.4		7274.3		15947.8					
	維持管理補助金交付件数	件	1292	/	1298	1287	/	1295	1290	/	1298	1310
単位あたりコスト		48.8		50.9		49.5						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図るため、浄化槽設置整備事業補助金及び浄化槽維持管理事業補助金並びに浄化槽修繕等補助金を合併処理浄化槽設置者に交付し、合併処理浄化槽の新規設置及び適正な維持管理並びに正常な機能維持を促進するために必要性の高い事業を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	交付要綱等の中で、規定に沿って行うことにより、適正に効率的に進められる事業である。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	合併処理浄化槽の新規設置目標は福知山市循環型社会形成推進地域計画により9基とした。また、維持管理目標基数は過去の実績を踏まえ1,298基とした。浄化槽設置整備事業補助金の活用により、4基の合併処理浄化槽を新規設置でき、また浄化槽維持管理事業補助金の活用により、1,290基の合併処理浄化槽を適正に維持管理できたことで、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図ることができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>福知山市循環型社会形成推進地域計画における令和4年度から令和8年度までの5か年の設置目標基数41基に対して、新規設置基数は4基(達成率10%)であった。</p> <p>未達成の原因として、浄化槽整備区域が山間部であり過疎、高齢化が進んでいることや合併処理浄化槽の必要性や費用負担等の理由によるものと考えられる。しかしながら、新規設置の4世帯において、し尿のくみ取りや家庭から雑排水の排出を合併処理浄化槽により水洗化でき、令和4年度時点では1,290基の合併処理浄化槽の適正な維持管理が行われており、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成が図られている。</p> <p>合併処理浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進するためにも、設置及び維持管理にかかる補助制度を浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽未設置者に対して周知する必要がある。</p> <p>また、本市では耐用年数である30年を経過する合併処理浄化槽が年々増加傾向にあり、劣化や老朽化、破損等で正常に機能せず基準値を超える生活排水が流出することがないよう、早期に合併処理浄化槽を正常な状態に復旧する支援策の検討が必要である。</p>		
改善策	浄化槽整備区域(R5~R7は旧市内区域)における合併処理浄化槽未設置者に対し、設置及び維持管理にかかる補助制度を周知する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	合併処理浄化槽が破損等した場合の早期に正常な状態に復旧するための支援策を検討する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--